
2009年3月期

決算説明会

2009年5月25日(月)

東京鋼鐵株式会社 JQ:5448

代表取締役社長 南 良隆

目次

■	【決算の概要】	P 4	通期実績概要
		P 5	通期及び半期実績グラフ
		P 6	生産実績グラフ
		P 7	販売数量実績グラフ
		P 8	売上高・輸出割合の推移
		P 9	製造原価
		P10	営業利益増加分析
		P11	貸借対照表 主要項目比較
		P12	キャッシュ・フロー推移
		P13	スクラップ市況
■	【市況動向】	P14	原油・合金鉄市況
		P15	山形鋼市況
		P16	通期業績見通し
■	【通期業績見通し】	P17	設備投資計画
■	【設備投資計画】	P18	普通鋼電炉の生産推移
■	【その他付属資料】	P19	鉄鋼業界内の当社の位置
		P20	2007年度 形鋼の用途比較
		P21	環境への取組み
		P22	製造工程図
		P23	資料取扱上の注意

通期 実績概要



需要見合いの生産と在庫圧縮実施により増益！！

単位:百万円

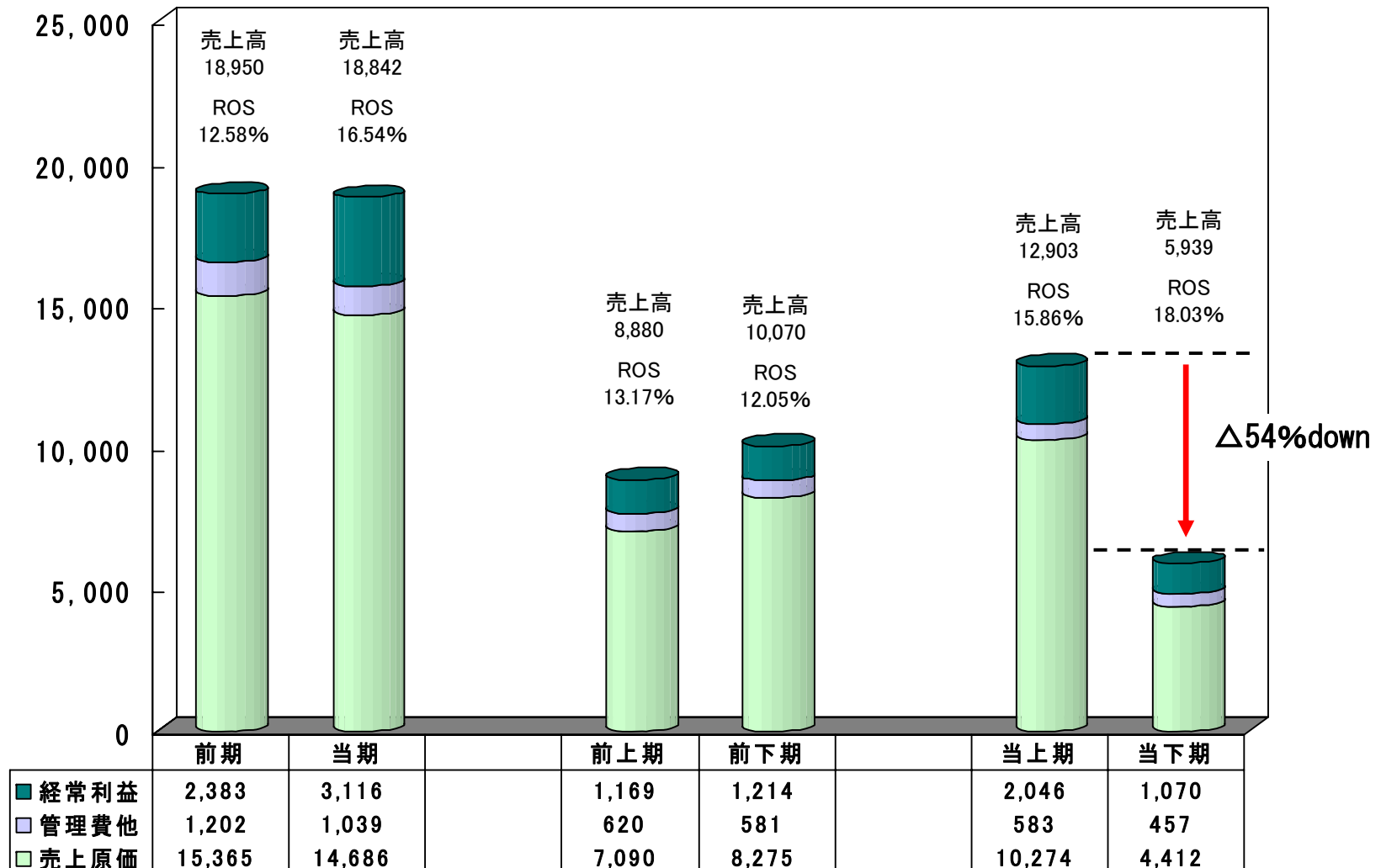
	08/3期 (前期)	09/3期 (当期)	差引	前期比 増減率	要因
売上高	18,950	18,842	△108	△0.6%	販売数量減少<販売単価アップ
売上原価	15,365	14,686	△679	△4.4%	
売上総利益	3,585	4,155	570	+15.9%	
販売管理費	1,226	1,066	△160	△12.9%	
営業利益	2,359	3,088	729	+30.9%	
経常利益	2,383	3,116	733	+30.8%	スプレッド確保に注力し、増益！！
当期純利益	1,382	1,751	369	+26.7%	
売上高総利益率	18.92%	22.06%	+3.14%		
// 経常利益率	12.58%	16.54%	+3.96%		目標である15%を達成！！
EPS(円)	79.39円	100.58円	+21.19円		
配当(円)	10.00円	10.00円	±0円		

通期及び半期実績グラフ



下期売上高の大幅な減少も、高利益率で業績確保！！

単位: 百万円

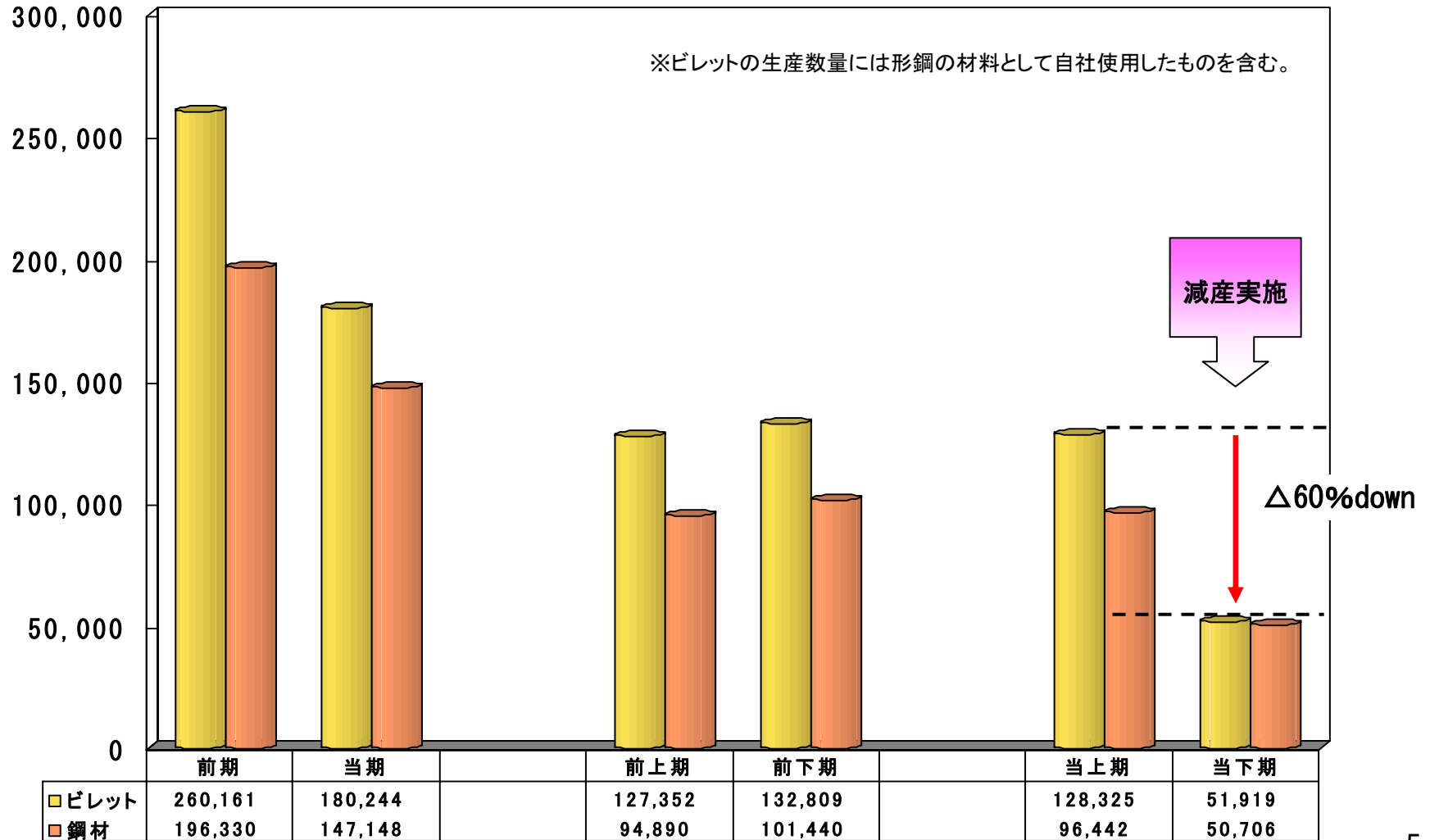


生産実績グラフ

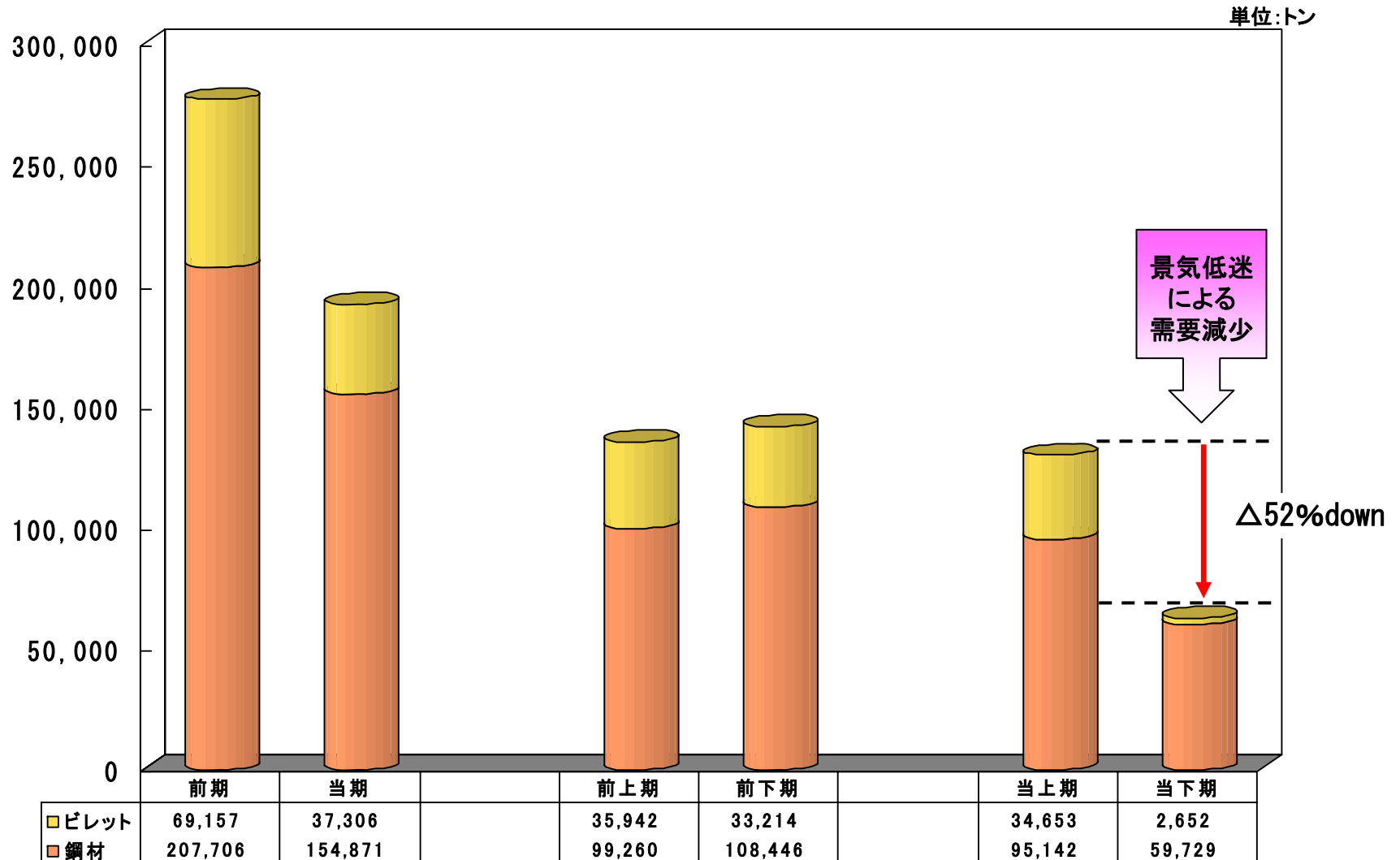


市況安定化のため、早期減産対応！！

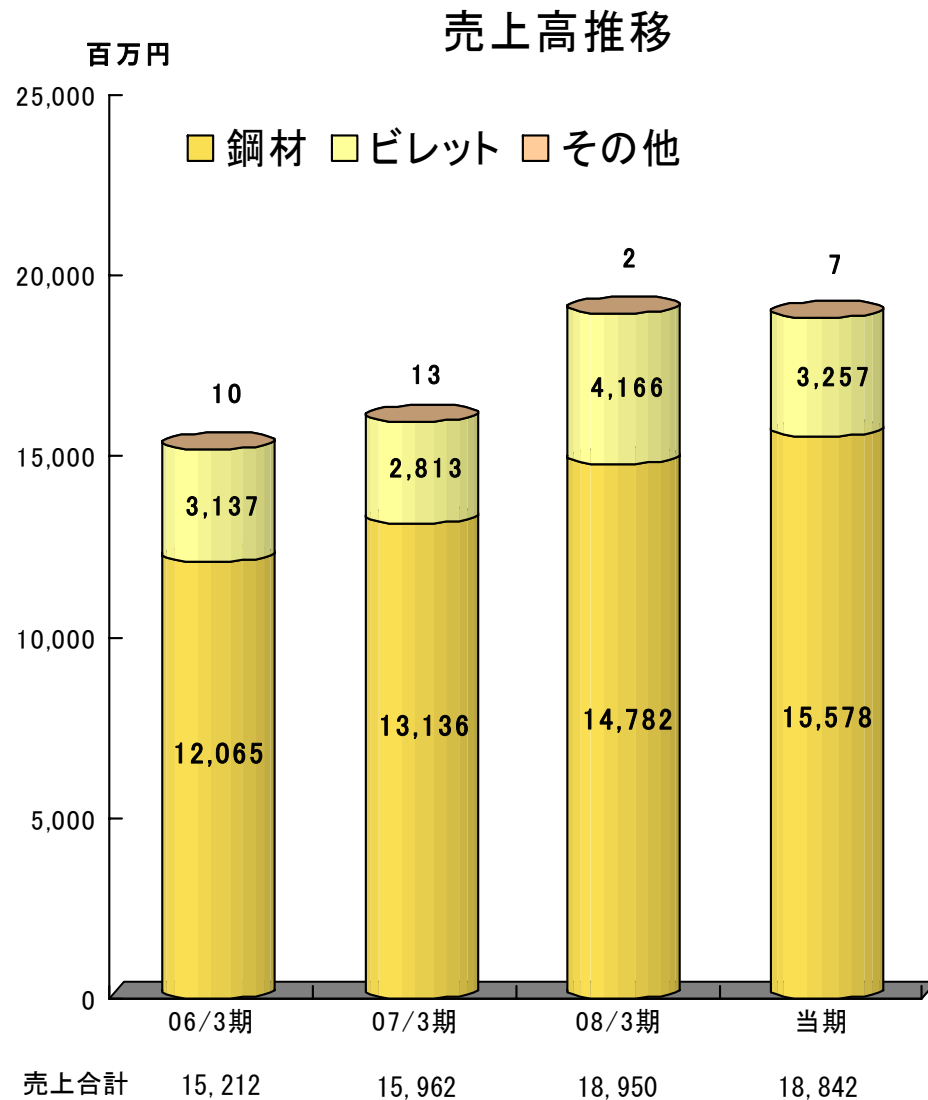
単位:トン



販売数量実績グラフ



売上高・輸出割合の推移



輸出割合比較(売上高ベース)

品目	前期	当期	増減
鋼材 (国内)	70.5%	82.1%	11.4%
(輸出)	7.5%	0.6%	△6.9%
ビレット (輸出)	22.0%	17.2%	△4.8%

※ビレット(国内)は少額のため記載を省略

前期 売上比較

<鋼材>

原材料価格高騰分を販売価格に転嫁

販売数量 (国内)	32,833 t	減少
販売単価	28,972円	上昇
販売数量 (輸出)	20,001 t	減少
販売単価	23,327円	上昇

<ビレット>

下期以降、在庫調整が顕著になり販売数量減少

販売数量 (輸出)	32,081 t	減少
販売単価	27,135円	上昇

※適正販売価格により、厳しい経営環境の中、利益計画達成！

製造原価

(金額:百万円)

	08/3 前期		09/3 当期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
材料費	11,944	79.1%	10,722	76.3%	△1,222	△10.2%
労務費	839	5.6%	911	6.5%	+72	+8.7%
経費	2,310	15.3%	2,427	17.2%	+117	+5.1%
総製造費用	15,093	100.0%	14,060	100.0%	△1,033	△6.8%

主な要因

材料費

スクラップ購入単価は上昇したが、減産によりスクラップ使用量が減少したため、前期より減少。

労務費

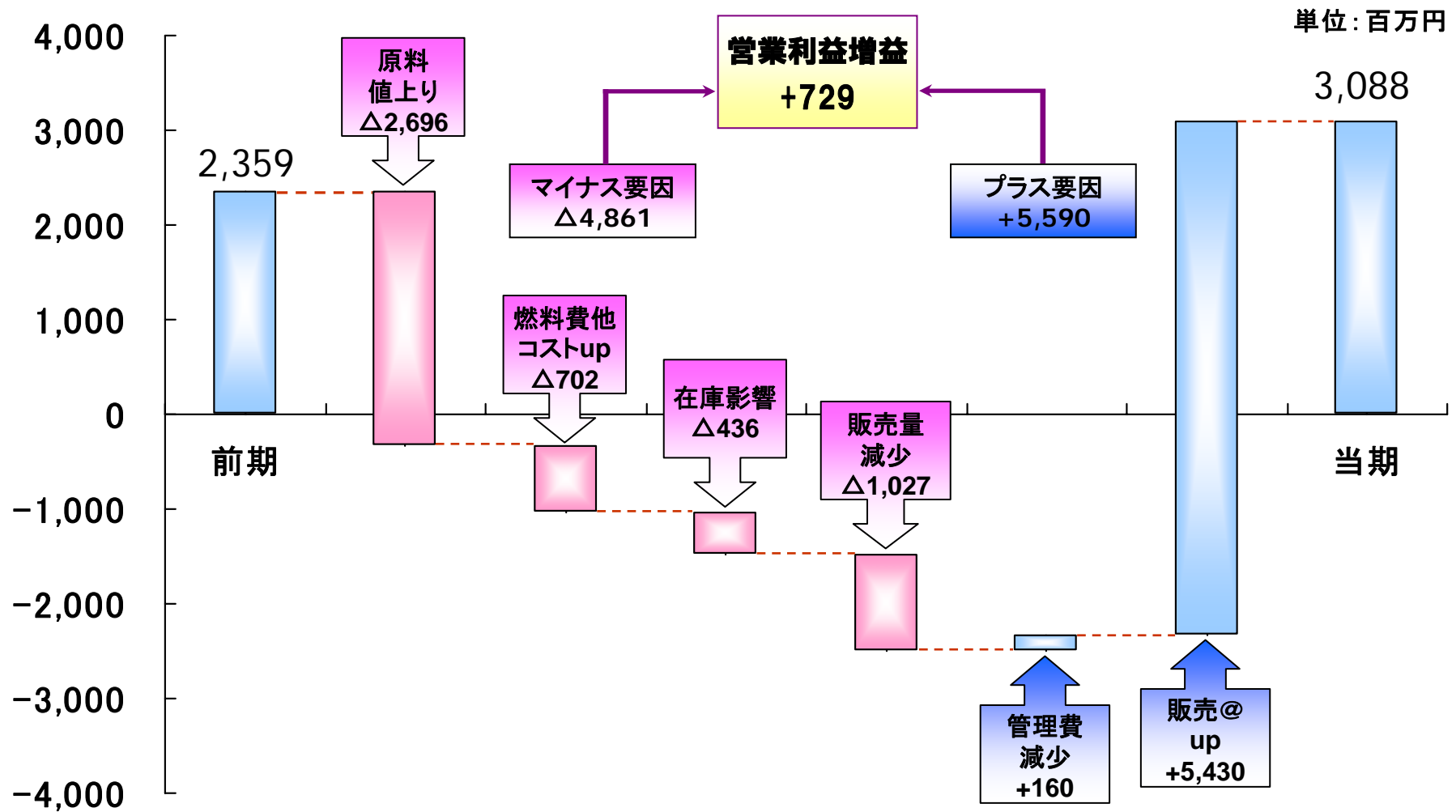
退職給付費用負担増加:世界同時株安の影響による年金運用益減少。

経費

修繕費増加:設備の維持更新を目的に実施した。

減価償却費増加:電気炉変圧器更新、集塵機増設及び税制改正による耐用年数見直し。

営業利益増加分析



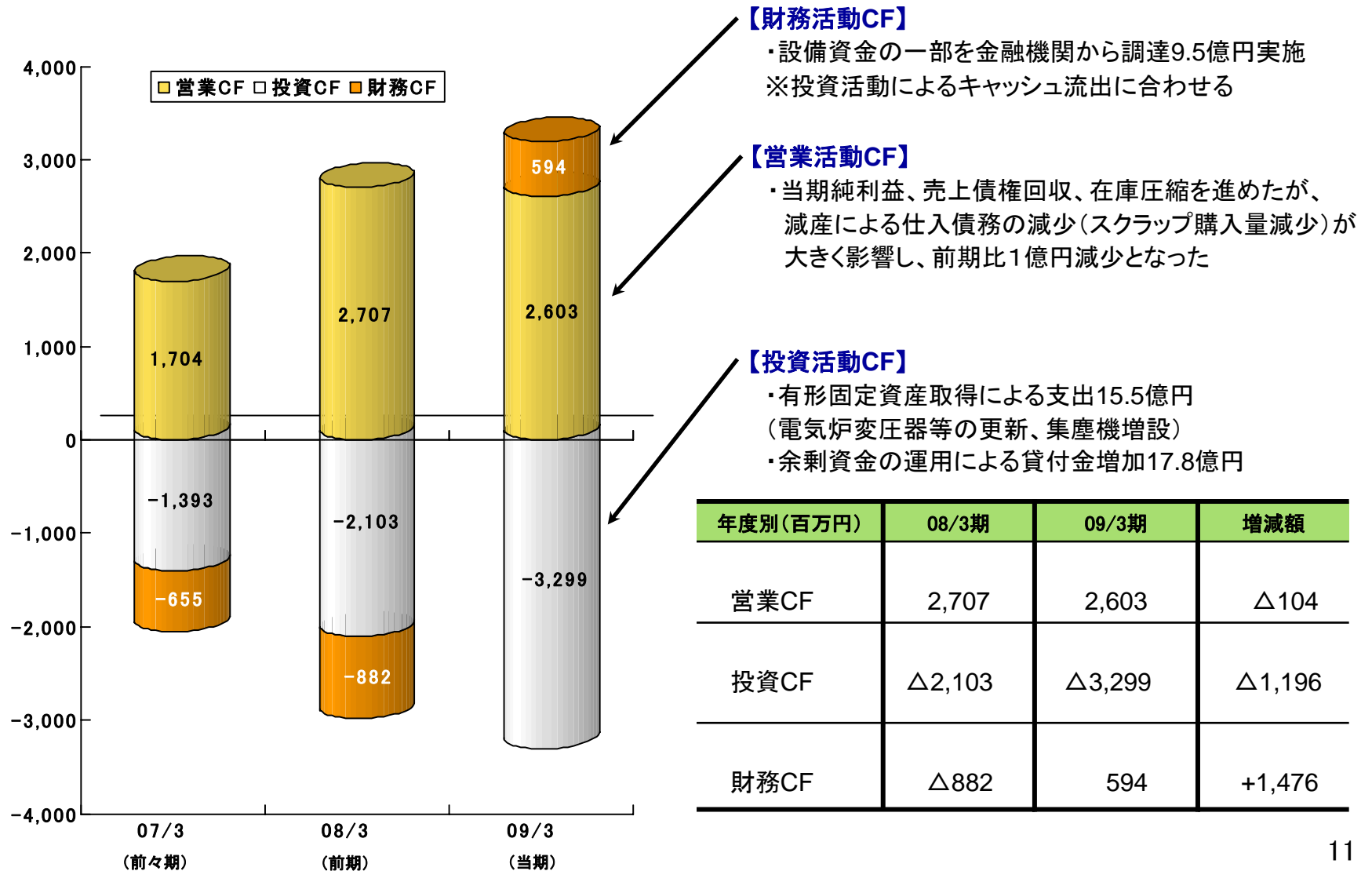
貸借対照表 主要項目比較



単位:百万円

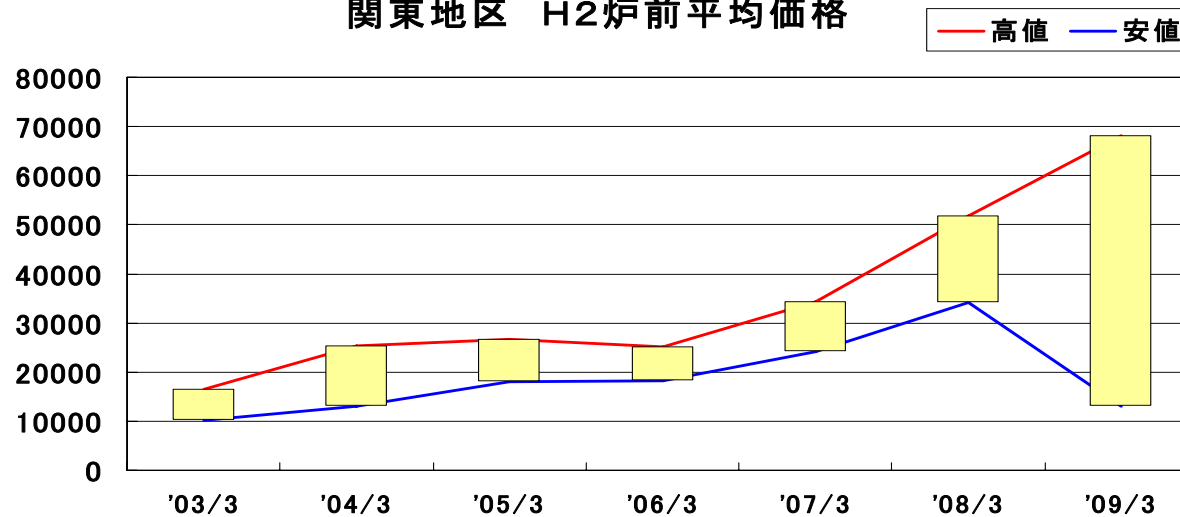
	08/3(前期)	09/3(当期)	増減額	内 容
資産				
売上債権	4,310	2,414	△1,896	売上高減少による影響
棚卸資産	2,045	1,241	△804	原材料単価下落と在庫圧縮
流動資産	8,634	7,610	△1,024	
有形固定資産	9,758	10,617	+859	電気炉変圧器等の更新
固定資産	9,997	10,823	+826	
負債				
買入債務	5,631	2,658	△ 2,973	原材料仕入高の減少
有利子負債	587	1,358	+771	設備資金を金融機関より調達
流動負債	6,658	4,353	△2,305	
純資産合計	10,092	11,651	+1,559	
負債・純資産計	18,631	18,433	△198	
流動比率(%)	129.7%	174.8%	+45.1%	
自己資本比率(%)	54.2%	63.2%	+9.0%	
DELシオ(倍)	0.06倍	0.11倍	+0.05倍	

キャッシュ・フロー推移

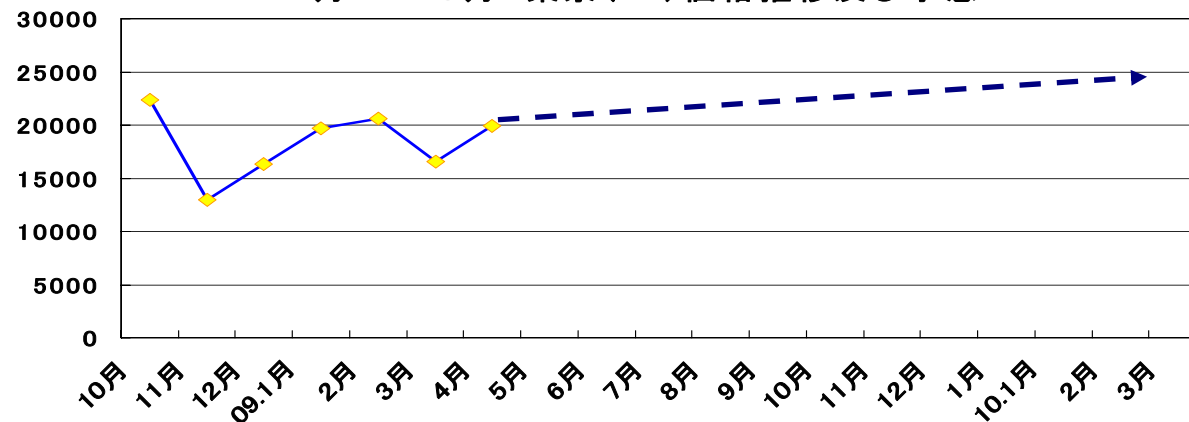


スクラップ市況

関東地区 H2炉前平均価格



08.10月～10.3月 東京(H2)価格推移及び予想



出所: (株) 日刊市況通信社調べ

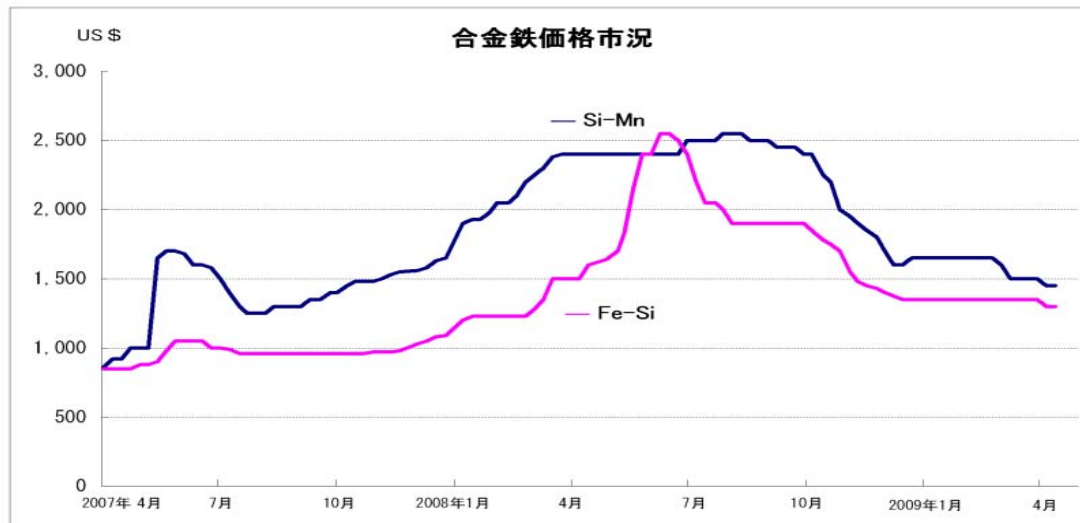
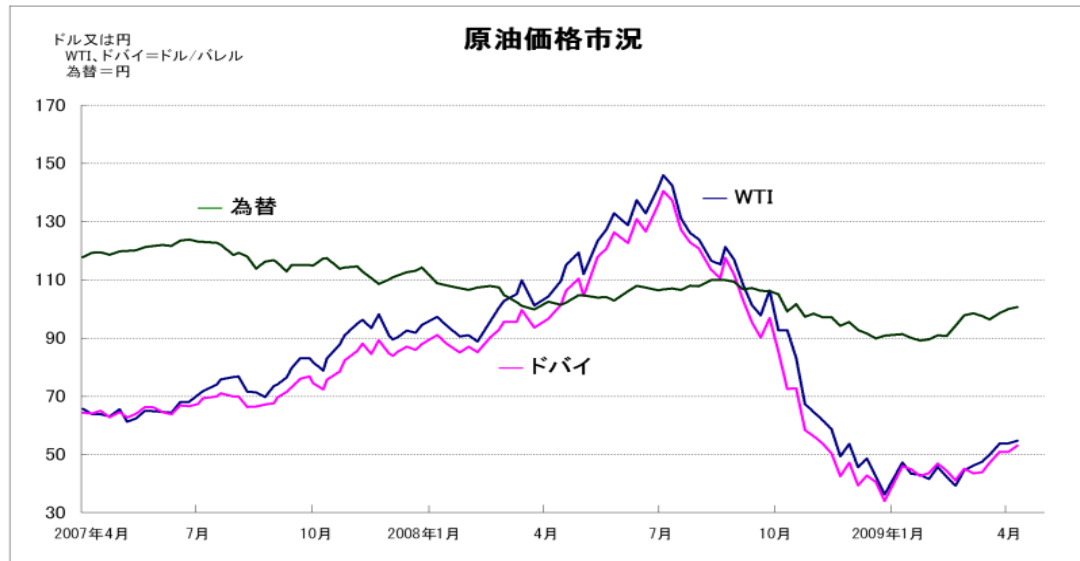
《国内》

- ・鉄鋼製品の需要減少により電炉各社は減産継続
- ・経済活動が低調で鉄スクラップの発生が減少
- ・高炉は減産によりスクラップ使用量が減少し
- ・7月から電炉は夏季減産期入り

《海外》

- ・アジア各国の生産意欲は強く日本からの輸出は増加傾向
下期以降は、強含みで推移する見込み
- ・米国コンポジットは5月18日現在188.50ドル

原油・合金鉄市況



《原油》

上昇傾向

- ・各国の経済対策による景気回復期待から不需要期であるが市況は上昇中

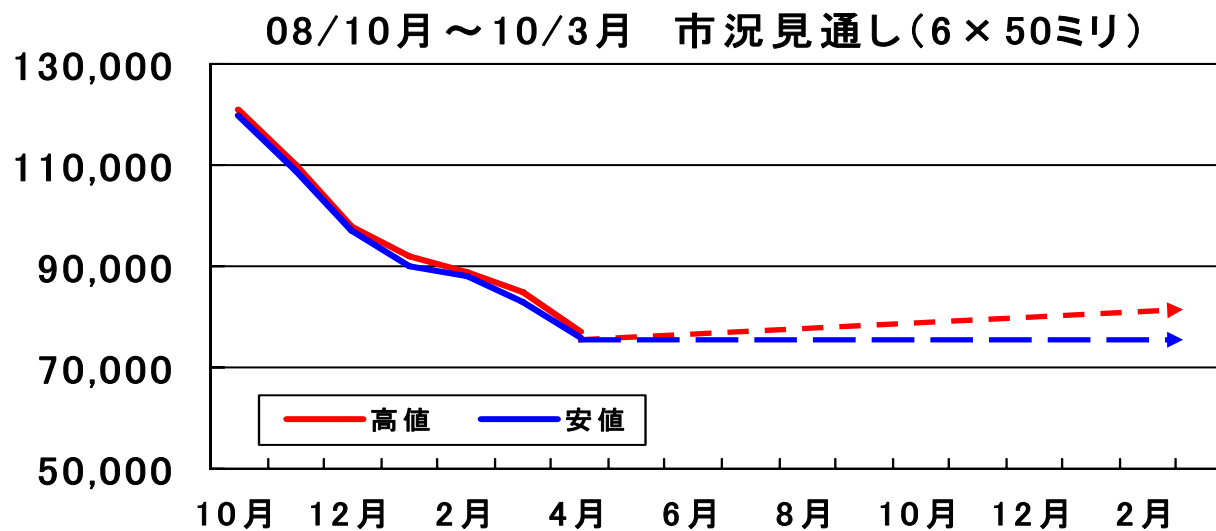
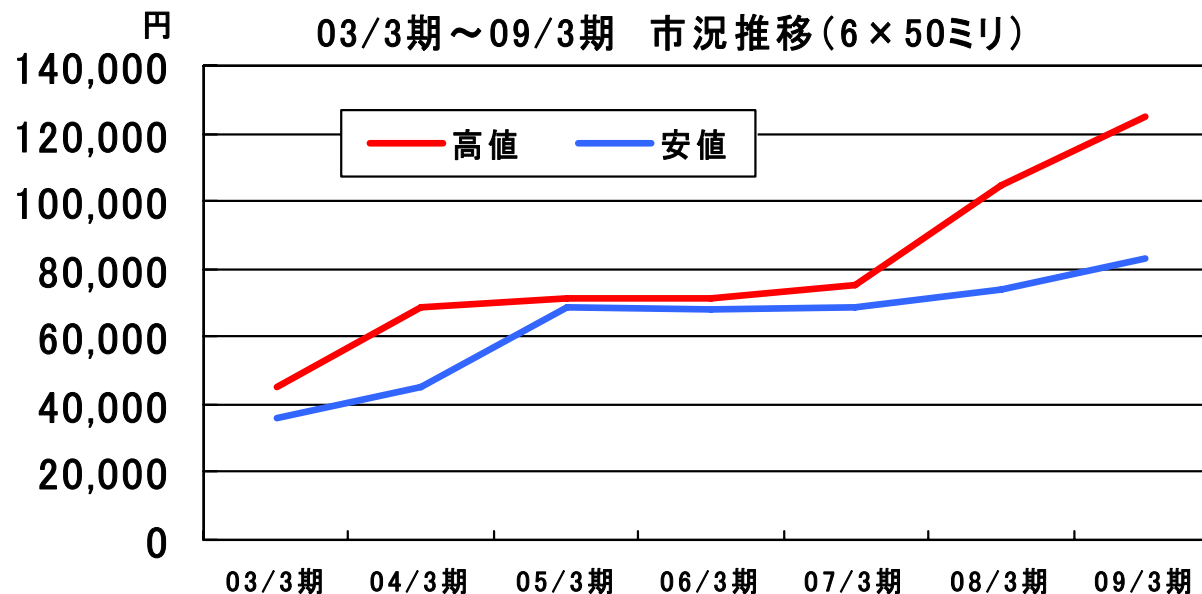
《合金鉄》

- ・国内外とも粗鋼生産減による需要減少により弱含み横ばい

<見通し>

- ・昨年のような急騰局面は考えづらいが、下期以降景気が徐々に回復基調に乗れば緩やかな上昇トレンドとなるのではないか？

山形鋼市況



《国内》

- ・需要減少により需給調整を実施してきたが流通の在庫調整は完了
- ・4月積み1.5万円値下げにより底値感が台頭
- ・スクラップの上昇と景気回復により製品市況は、緩やかな回復を予想

《海外》

- ・在庫調整の動きも一巡し韓国や台湾から輸出ビレットやアングルの引合が増加し、需要は回復基調

通期業績見通し



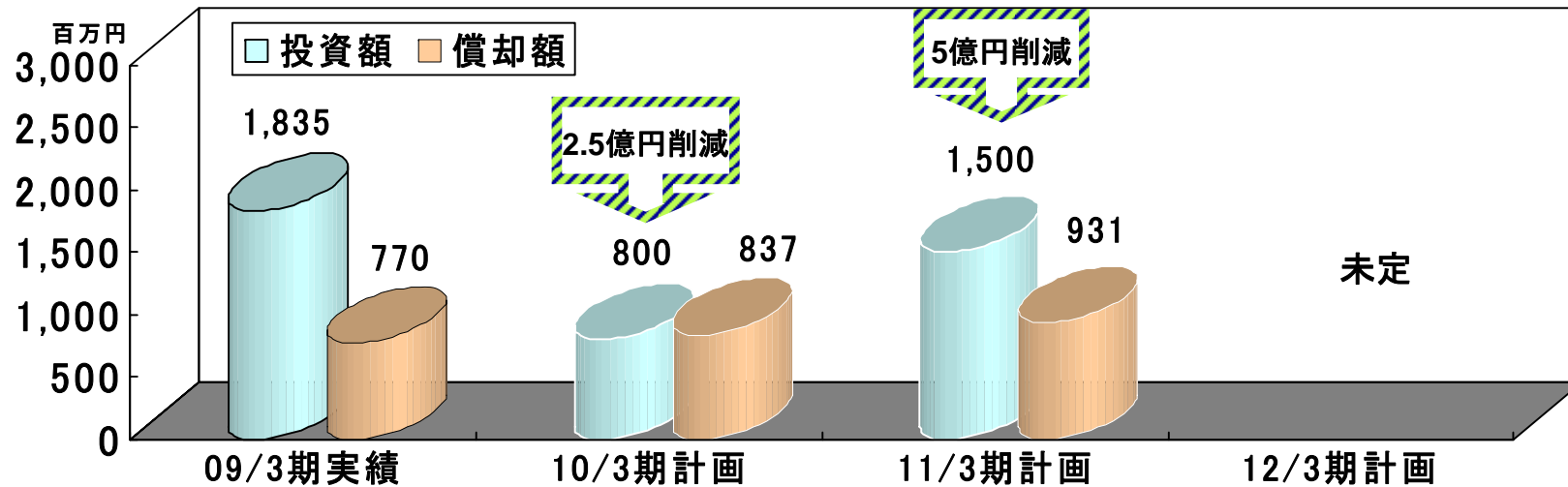
需要に見合った生産と販売に徹し、適正な市場構築を図る。

単位:百万円

	09/3期 (実績)	10/3期 (見通し)	差引	前期比 増減率	要因
売上高	18,842	12,600	△6,242	△33.1%	世界景気減速懸念による市場の混乱
売上原価	14,686	10,500	△4,186	△28.5%	
売上総利益	4,155	2,100	△2,055	△49.5%	
営業利益	3,088	1,000	△2,088	△67.6%	
経常利益	3,116	1,000	△2,116	△67.9%	聖域なき経費削減を実施し利益確保
当期純利益	1,751	550	△1,201	△68.6%	
売上高総利益率	22.06%	16.67%	△5.39%		
〃 経常利益率	16.54%	7.94%	△8.60%		
EPS(円)	100.58円	31.57円	△69.01円		
配当(円)	10.00円	6.00円	△4.00円		

設備投資計画

来期(10/3期)は償却の範囲内で設備投資実施



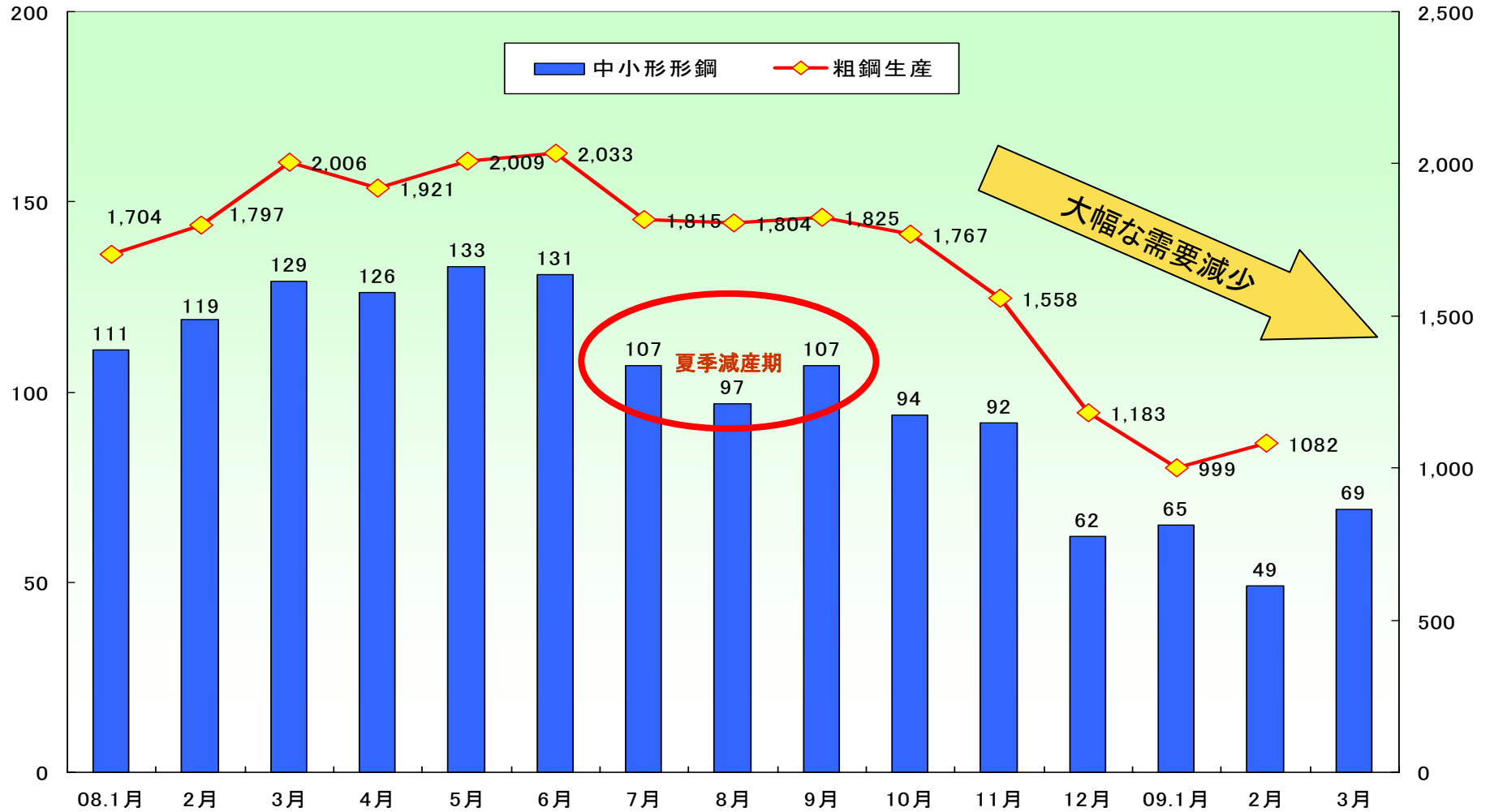
設備投資明細

• 10/3期	製鋼設備	1.7億円	製鋼・集塵装置(環境)	1.5億円
	圧延ライン	3.1億円	その他	1.7億円
• 11/3期	圧延下工程の改修	6.0億円	製鋼設備	4.7億円
	圧延仕上列・ガス化1期工事	3.0億円	その他	1.3億円
• 12/3期	未定			

普通鋼電炉の生産推移(08.1月~09.2月)



単位:千t



出所:経済産業省

鉄鋼業界内の当社の位置

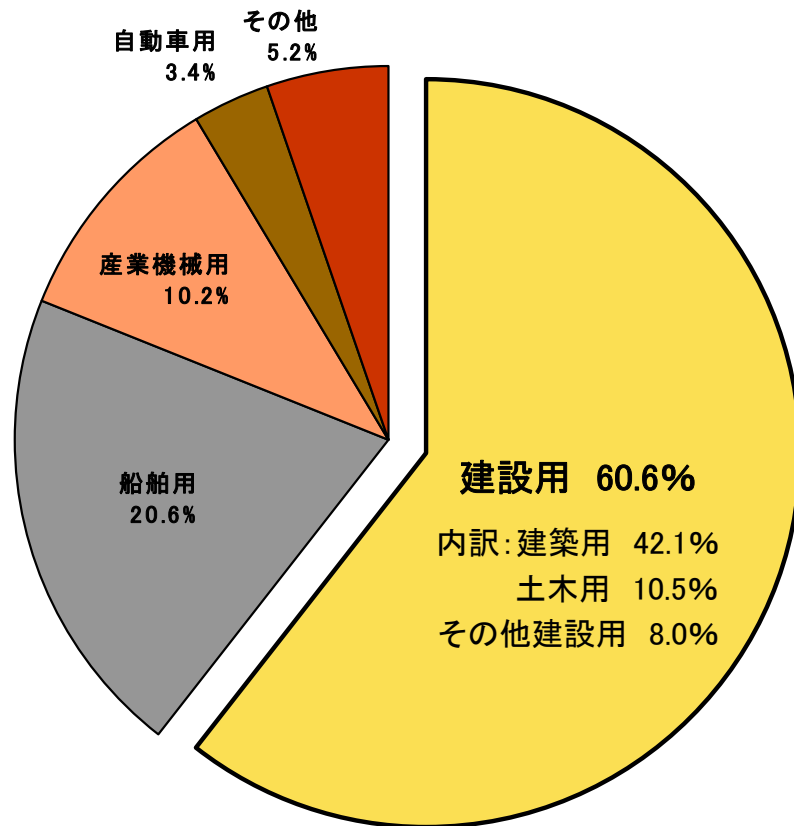
売上規模は小さいが利益率は常に上位

		売上高		経常利益		ROS		
		全体順位	電炉順位	全体順位	電炉順位	利益率	全体順位	電炉順位
東	06／3中間	61位	15位	38位	15位	20.1%	7位	6位
	06／3通期	65位	16位	39位	15位	21.3%	6位	5位
京	07／3中間	65位	18位	38位	14位	20.9%	6位	4位
	07／3通期	67位	16位	42位	14位	19.4%	5位	2位
鋼	08／3中間	67位	20位	47位	14位	13.2%	11位	3位
	08／3通期	67位	18位	50位	15位	12.6%	11位	3位
鐵	09／3中間	62位	19位	36位	11位	15.8%	7位	3位

06／3中間(連結):69社 06／3通期(連結):69社 07／3中間(連結):72社 07／3通期(連結):72社
 08／3中間(連結):72社 08／3通期(連結):73社 09／3中間(連結):72社

出所:鉄鋼新聞

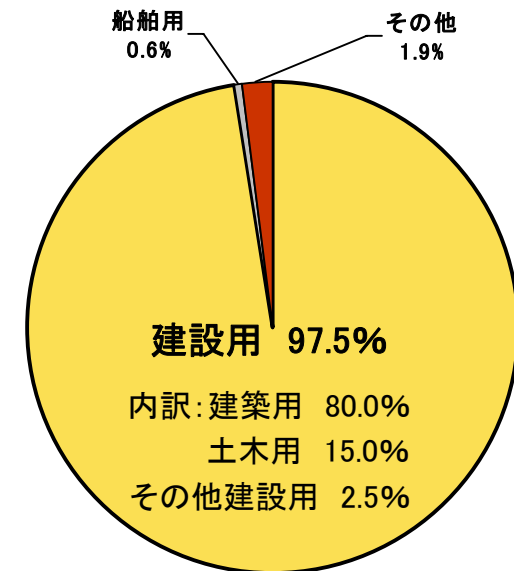
2007年度 形鋼の用途比率



223万t／年間

一般形鋼の用途比率

■ 建設用 ■ 船舶用 ■ 産業機械用 ■ 自動車用 ■ その他



473万t／年間

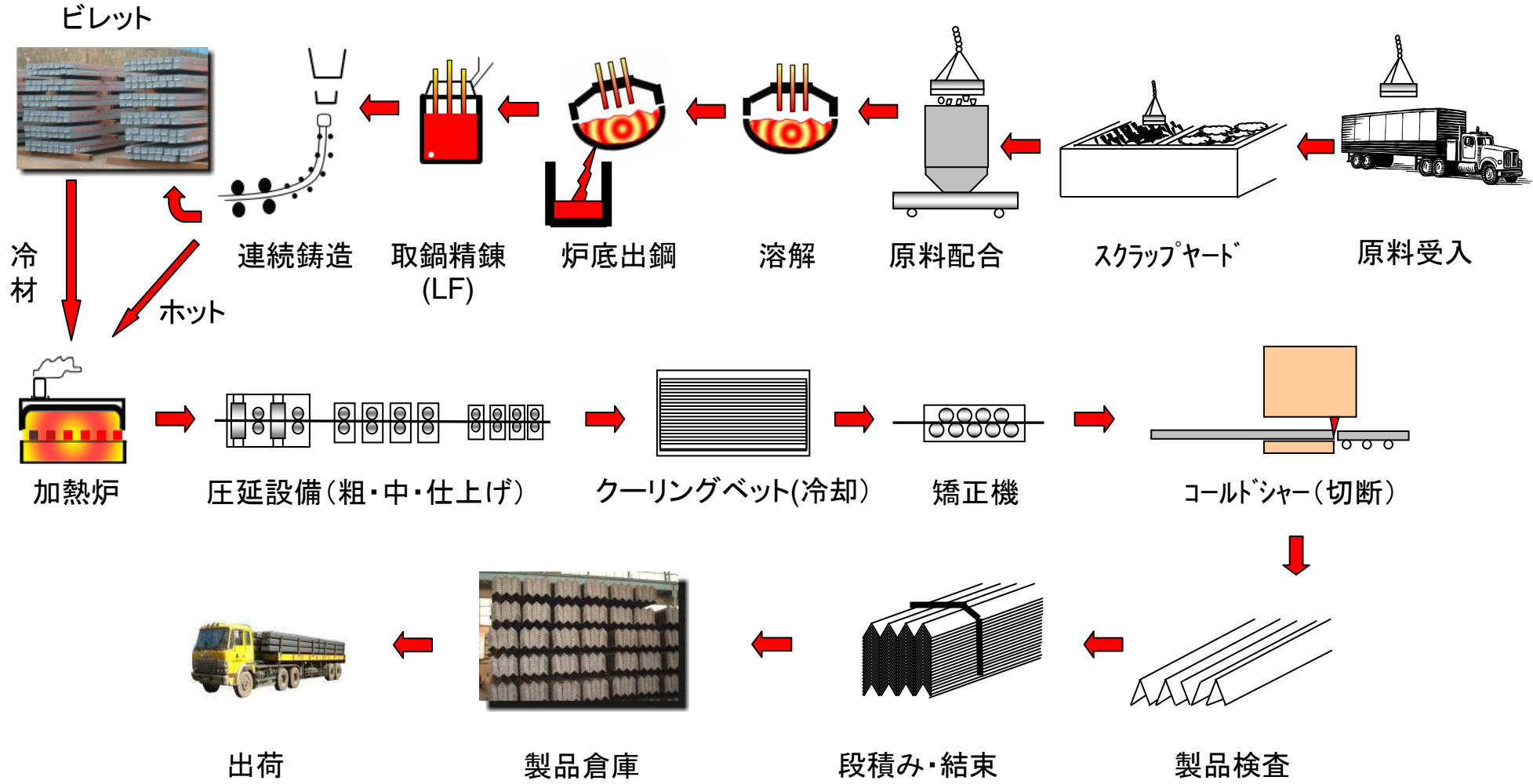
H形鋼の用途比率

環境への取組み

- ・ H18. 11 ISO14001:2004 認証取得
- ・ H19. 11 工場敷地内に50本植樹
- ・ H20. 6 小山市エコ・リサイクル推進事業所に認定
- ・ **H20. 9 集塵装置増設**
- ・ H20. 11 おやまエコリサイクルフェスティバルフェアに参加
(ごみ集積所の試作品等展示)
- ・ H20. 11 工場敷地内に50本植樹
- ・ H21. 4 渡良瀬遊水地クリーン作戦参加
- ・ 毎月工場周囲のクリーン作戦実施



製造工程図



資料取扱上の注意

本資料に掲載しております計画数値や見通しは、現時点で入手可能な情報に基づいて当社独自に予測したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、実際の業績はこれと異なる可能性があり、見通しの達成を保証するものではありません。